

平成 29 年 12 月

平成 29 年度

第 2 回アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会（パイロット事業）について

九州大学 基幹教育院

次世代型大学教育開発センター

（協力）大学入試センター

1. はじめに

現在、各大学において多面的・総合的な評価入試を主な内容とした入試改革の計画立案が進行しています。しかし、この多面的・総合的な評価入試において判定を行うには、高大接続領域全般に関わる知識・スキル・コンピテンシーが必要とされるにもかかわらず、我が国では、経歴・職歴や専門実務領域、専門研究領域への高い依存性により個人の力量において業務が遂行されているという現状です。また、その原因の一つとして、他の領域の能力開発をする機会がほとんどない点が挙げられます。

今回の入試改革では、新たな入学者選抜方法、学力評価方法の開発、評価方法に関する専門人材の育成と教員の評価力向上等に関する具体的な検討が、高大接続答申をはじめ高大接続システム会議等で求められています。現在の高校までの教育成果を評価して大学教育へ移行できるかどうかを質・量の両面に対応して判定するには、高大接続領域の全般的な知識・スキル・コンピテンシーを持つ専門性の高い人材開発が必要になります。

そこで、このたび本学では、平成 28 年度に採択された教育関係共同利用拠点事業「次世代型大学教育開発拠点」（九州大学）において、アドミッション・スペシャリストの能力開発の研修講座を試行実施いたします。第 2 回目は、アドミッションに関するよりアドバンスな知識獲得をはじめ、データ分析手法等のビギナー編の一部を扱います。

今後、このようなカリキュラムに則って体系的に学べる機会を創出しますので、多くの方にご参加いただき、アドミッションにおける必要不可欠な人材育成にご協力いただければと思います。

2. 主催・協力

主催：九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

協力：大学入試センター

3. 日時・会場

平成 30 年 3 月 22 日（木） 13:00～18:10

平成 30 年 3 月 23 日（金） 10:30～14:30

九州大学箱崎キャンパス（文系地区） 共通講義棟102教室

https://www.kyushu-u.ac.jp/f/30077/Hakozaki_jp-2017.pdf

（〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目19番1号）※MAPの「文系地区」12番です。

4. 開講コースと対象者

＜アドバンス編（中級）＞

大学教職員・高校教職員の方を対象とします。特に、新規採用されたアドミッション（入試）業務従事者、大学入学者選抜業務を担当する学部教員や入試関連委員会委員、入試課でアドミッション（入試）業務に従事されている事務職員の方。すでにアドミッション業務の経験はあるが、アドミッション・スペシャリストを目指している方、および、今後、アドミッション・スペシャリストを目指したい方の参加をお待ちしております。

5. 定員と受講料

両日とも定員80名とします。受講料は徴収しません。（拠点事業経費によるため）

6. アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会の内容とスケジュール

目的：本研修では、アドミッション業務担当者が、まずはじめに獲得しておきたいアドミッション領域の知識やスキルを修得し、翌日から実践できるようになることを目的としています。

進め方：知識・スキルの講義を行いながら、個人・グループでのワーク等を取り入れながら進めます。

タイムテーブル

平成30年3月22日（木）

時限	科目	担当	内容
13:00-14:30	講義1 [入試戦略・マーケティング企画] 戦略的アドミッション・マーケティング入門	京都工芸繊維大学 山本 以和子	アドミッション・オフィサーとして仕事をする際に、必須の基本的なマーケティング理論と入試戦略課題を整理する手法を解説する
14:50-16:20	講義2 [コミュニケーション] 高校訪問における戦略的な入試広報について	名古屋大学 永野 拓矢	戦略的な高校訪問のあり方について、タイプ別（トップ校、中堅校、進路多様校等）に実践例をもとに解説する

16:40-18:10	講義 3 [社会調査法] アドミッション・アンケートの設計	九州大学 木村 拓也	オープンキャンパスアンケートや入学者アンケートについて実例に基づき解説する
18:10-20:00	情報交換会		会費 4,000 円を予定

平成 30 年 3 月 23 日 (金)

時限	科目	担当	内容
10:30-12:00	講義 4 [統計・テスト理論] アドミッション・オフィサーのための記述統計学	九州大学 佐藤 喜一	データの表や図による表現、基本的な統計指標の計算と意味について初歩的なことを学ぶ
13:00-14:30	講義 5 [高校生・高校教育] センター試験の受験生の動向を探ろう！	大学入試センター 内田 照久	大学進学を目指すセンター試験の受験者の動向から時代色、地域色、18 歳人口減少期の実相を読み解く

7. 申し込みの方法

下記リンク先の申込フォーマットにてお申し込みください。

<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/form/#form20180322>

【申し込み期間】

2017.12.15 (金) - 2018.3.14 (水) 17:00 まで

※ただし、定員に達し次第受付を停止します。

8. 参加者へのお願い

- ・パイロット事業のため、アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会について詳細なアンケートを実施する予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。
- ・テキストは、当日配布いたします。
- ・受講の際、Excel が使える環境があると望ましいです。
- ・当日は報告書等利用のための写真・動画撮影を行います。予め、ご承知おき下さい。

9. 開催について

このセミナーは、文部科学省による教育関係共同利用拠点「大学の教職員の組織的な研修等の実施機関」における「次世代型大学教育開発拠点」（九州大学、平成 28～30 年度）の採択を受け、開催されるものです。

10. 問い合わせ先

担当：九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

電話：092-802-6070

Mail：kyoten★artsci.kyushu-u.ac.jp

※メールアドレスの★を@に変更してください。

11. その他

・今後、下記ループリックに基づき、ビギナー編（初級）、キャリア編（中級）、エキスパート編（上級）を順次開講します。

分類	Level	達成目標
制度・政策	初級	日本における大学入試に関わる制度や政策に関する基本事項を理解できる。
	中級	国外の大学入試に関わる制度や政策の特徴を理解し、日本の制度と比較して理解できる。
社会責務・倫理	初級	アドミッション・オフィサーとしての社会的責務や倫理に関する基本事項を理解し、実践することができる。
高校生・高校教育	初級	中等教育の仕組みや高校生の基本的な行動を理解できる。
	中級	高等学校のカリキュラムや高校生の進路選択の傾向について理解できる。
	上級	高等学校の進路指導の考え方や特徴を理解し、高校生の進路選択や受験行動を考察することができる。
大学生・教育	初級	高等教育の仕組みや大学生の実態を理解する。
	中級	中等教育と高等教育の教育的な接続についての意義や課題点を理解できる。
統計・テスト理論	初級	統計やテスト理論に関する基本的な事項を理解できる。
	中級	分析ソフトを利用して統計的な処理や分析結果の解釈ができる。
	上級	多変量解析や項目反応理論など高度な統計手法を用いたデータの分析ができる。

分類	Level	達成目標
評価技法	初級	大学入試における基本的な評価技法の特徴を理解し、実際の適用場面を想定できる。
	中級	各評価技法の効果検証に関する方法を理解し、実践できる。
	上級	複数の評価技法を組み合わせることで多面的な評価を行うための具体的な提案ができる。
追跡調査法	初級	追跡調査の意義と基本的な考え方を理解できる。
	中級	追跡調査の基本的な技法の理解と実践ができる。
	上級	具体的な事例に対して、最適な追跡調査を選択し、分析結果の解釈と具体的な提案ができる。
社会調査法	初級	社会調査の基本的な技法を理解することができる。
	中級	質問紙調査や聞き取り調査などの具体的な技法を活用することができる。
	上級	調査によって得られたデータを分析し、報告書としてまとめることができる。
コミュニケーション	初級	アドミッション業務において重要なコミュニケーション場面を想定することができる。
	中級	アドミッション業務の各場面において、適切なコミュニケーションを行うことができる。
	上級	広報活動において、相手を惹きつけることができるような魅力的なコミュニケーションを展開できる。
入試企画	初級	企画立案のために必要な情報を収集し、課題点を整理することができる。
	中級	整理した情報をもとに、具体案を策定することができる。
	上級	策定案を実現するために必要な体制を整えたり、建設的な議論を展開できるような提案ができる。
入試戦略・マーケティング企画	初級	戦略策定のために必要な情報を収集し、課題点を整理することができる。
	中級	整理した情報をもとに、具体案を策定することができる。
	上級	策定案を実現するために必要な体制を整えたり、建設的な議論を展開できるような提案ができる。
高大連携・高大移行企画	初級	高大連携活動の目的や種類、その特徴を理解できる。
	中級	高大連携活動プログラムの具体的な企画ができる。
	上級	高大連携・移行に関する企画を実現するために必要な体制を整えたり、建設的な議論を展開できるような提案ができる。

分類	Level	達成目標
グローバル戦略	初級	海外からの学生獲得に関する基本的な仕組みを理解できる。
	中級	大学におけるグローバル戦略の事例を知っている。

・本研修会は、以下のスタッフにより企画・運営が行われております。

九州大学 基幹教育院 次世代型教育開発センター

運営委員 九州大学 人間環境学研究院 准教授 木村拓也（責任者）

運営委員 佐賀大学 アドミッションセンター 教授 西郡大

運営委員 京都工芸繊維大学 基盤科学系 准教授 山本以和子